

登録コード:MH268100 開講年度:2026		授業科目区分	専攻専門科目	必修
科目名	臨床検査総論 【22M以降】 Clinical Laboratory Syzygiology			
担当教員	松田 和之 太田 浩良・矢崎 正英・新井 慎平・山内 一由			
対象専攻/学年、講義期間、曜日・時限	検査技術科学専攻/1学年		前期	水曜・2 時限
単位数、講義室	1 単位	保健学科 2 1 1 講義室	遠隔授業科目	
信大コンピテンシー	該当			
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素		授業の達成目標	
	MH25カリ・保健・検査、MH23カリ・保健・検査			
	基礎的・専門的な知識と技能 保健・医療専門職者に必要な幅広い教養と基礎的・専門的な知識・技能を修得し、さまざまな状況で活用できる。		臨床検査に関連する入門的知識や技術を身に付ける。	
	科学的探求力 変化し続ける社会で派生する多様な課題に対して、地域・国際的な視点から、科学的・倫理的・道徳的・創造的に課題に対応していく探究心と、課題克服や目標達成に向けて生涯をかけて取り組む力が身についている。		臨床検査技師としての責務を理解し、臨床検査に関連する課題に興味を持ち、解決に向けて取り組むことができる。	
授業で学べる「テーマ」	健康長寿			
全学横断特別教育プログラム				
授業概要	臨床検査に使用される基本単位や数値の取扱い、基本的な器具・機器・装置の原理や構造、実際の使用方法、注意事項および維持管理、安全管理のための知識・技術、さらに、採血や生理検査を行うにあたっての基本およびその注意点を学び、実際に実習を行います。また、病院、中央診療施設および臨床検査部を見学します。 本授業は、1年次後期の「検査機器総論」の内容と相補的に学んでいくことになります。そして、本授業の内容は、2年次以降に学ぶ専門科目ならびに4年次の臨地実習における重要な基礎知識となります。 本授業は、担当教員の医療機関における医療職者としての実務経験を活かして講義・実習を行います。			
授業計画	第1回（4月15日） 臨床検査技師の役割と使命（臨床検査技師の業務，臨床検査技師の歴史，臨床検査技師と接遇） 第2回（4月22日） 臨床検査技師の職業倫理と守秘義務（臨床検査の実施と職業倫理，臨床検査の守秘義務，臨床検査の信頼性） 第3回（4月30日） 臨床検査における危害防止（実験実習の安全に関する基本事項含む） 第4回（5月13日） 採血行為の範囲 第5回（5月20日） 採血の種類（乳幼児等の採血法を含む），感染予防対策 第6回（5月27日） 採血に際しての注意事項 第7回（6月 3日） 顕微鏡の基本的な使い方【学内実習】 第8回（6月10日） 中間試験，顕微鏡の応用的な使い方（油浸等）【学内実習】 第9回（6月17日） 機器分析機器の使用法【学内実習】 第10回（6月24日） 微生物検査で用いる機器の使用法【学内実習】 第11回（7月 1日） 生理検査【学内実習】 第12回（7月 8日） 感染予防対策【学内実習】 第13回（7月15日） 信州大学医学部附属病院関連施設の見学 第14回（7月22日） 信州大学医学部附属病院臨床検査部の見学 第15回（7月29日） 臨床検査実習における倫理，レポートの書き方【授業アンケートの実施】 第16回（8月 5日） 期末試験			
授業の進め方	講義、各実習室でのグループ実習、病院関連施設の見学			
テキスト、教材、参考書	教科書：最新臨床検査学講座 検査機器総論（三村邦裕 他編 医歯薬出版） 参考書：安全の手引き（信州大学医学部） 教 材：講義資料			
成績評価の方法	中間試験・期末試験・レポートの結果に基づいて、総合的に判定します。 総合評価の配分は、中間試験（30%）・期末試験（60%）、レポート（10%）とし、総計の60%以上の得点を合格とします。中間試験は、第8回（6月10日）に筆記試験として実施します。 レポートでは、各回の実習の目的を理解し考察ができているかについて、中間試験や期末試験では、講義・実習に即し、臨床検査を行う上での材料、試薬、機器の正しい取り扱い方、安全管理と危害防止の実際、採血、生理検査、滅菌、感染性廃棄物の処理についての作業行程、さらに病院関連施設（臨床検査部含む）の概略・役割についての理解度を確認します。			
成績評価の基準	成績評価の判定基準は、下記の通りとします。 90-100点：秀、80-89点：優、70-79点：良、60-69点：可 レポートについては、その実習の背景を説明できており、行った実習の方法・結果を			

成績評価の基準	正確に記載しており、その結果についてどのようなことが考えられるか（問題点や課題など含め）を考察できており、その問題点を解決する方法や文献的な裏付けができており、その上で、自らの見解を明確に提示できていれば、「卓越している」、からの場合は「かなり上にある」、～の場合は、「やや上にある」、～の場合は、「水準にある」と判定します。 また、「期末試験」での採点の基準は、行動目標に関連した設問に対する選択式解答の正誤だけでなく、記述式解答における用語の適切さ、説明内容の範囲の広さや詳細さ、記述内容の論理的な妥当性などを指標とし、授業で説明した範囲における、最低限の解答内容であれば「水準にある」、やや詳細な解答内容であれば「やや上にある」、十分に詳細な内容であれば「かなり上にある」、授業で説明した範囲以上に自身で能動的に学修した詳細な解答内容であれば「卓越している」と判定します。
事前事後学習の内容	【事前学習について】 事前に配布する講義資料、教科書に基づき予習と関連項目の復習をしてください。実習においては、実習内容を事前に確認、理解し、スムーズに実習に取り組めるように準備してください。 【事後学習について】 講義資料に基づきノートの整理をしながら復習し、理解不足のところは次回質問してください。実習においては結果を見やすく整理でき、他人に説明できるように考察をまとめ、レポートを作成してください。 本授業の単位修得には45時間の学習が必要であるため、以下のような学習時間を必要とします。 授業時間30時間（2時間×15回）+ 自己学習時間15時間（1時間×15回）= 45時間 *以上の自己学習時間を考慮して、事前・事後学習に意欲的に取り組んでください
学生へのメッセージ並びに質問、相談への対応	予習（事前学習）と復習（事後学習）に関する能動学習を通じて臨床検査技師としての入門的知識や技術を修得して、将来の臨床検査技師としての活動に役立てられるよう意欲的に取り組んでください。 質問・相談はE-mailでも受け付けます。 質問への対応：松田和之（kmatsuda@shinshu-u.ac.jp） オフィスアワー：随時 保健学科中校舎4階 松田研究室